

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年1月12日

協議会名: 長野県公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
長電バス(株)	山田温泉線	乗継拠点であるYOUランドバス乗降場所を整備し、利便性が向上した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標輸送量:36.4 に対して 実績輸送量24.7であった。	車内の換気・消毒を徹底し、旅客の不安感を取り除き、バスが安全な移動手段であることを認識して頂く。
長電バス(株)	上林線 ※車両減価償却費国庫補助金を受けている	車内表示器をインバウンド対応し、利用促進に努めた	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標輸送量:24.0 に対して 実績輸送量8.4であった。	インバウンド需要が見込めないため、地元のお客様へ時刻表を配布し、利用促進を行う。
長電バス(株)	永田線 ※車両減価償却費国庫補助金を受けている	減便を実施し、費用圧縮に努めた	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標輸送量:15.3 に対して 実績輸送量5.1であった。	車内の換気・消毒を徹底し、旅客の不安感を取り除き、バスが安全な移動手段であることを認識して頂く。
長電バス(株)	屋島線 ※車両減価償却費国庫補助金を受けている	バスの乗り方教室を実施し、お客様のバス利用に対する障壁低減を図った。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 目標輸送量:21.2 に対して 実績輸送量21.8であった。	車内の換気・消毒を徹底し、旅客の不安感を取り除き、バスが安全な移動手段であることを認識して頂く。
長電バス(株)	牟礼線 ※公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けている	牟礼線を含む、飯綱町内全域でICカードが導入され、利便性が向上した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標輸送量:27.8 に対して 実績輸送量22.6であった。	車内に液晶ディスプレイを導入し、運賃やバス停がはっきり分かるようにし、利便向上に繋げる。
長電バス(株)	野沢線 ※公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けている	減便を実施し、費用圧縮に努めた	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標輸送量:24.4 に対して 実績輸送量16.2であった。	インバウンド需要が見込めないため、地元のお客様へ時刻表を配布し、利用促進を行う。
長電バス(株)	中野木島線	減便を実施し、費用圧縮に努めた	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 目標輸送量:15.9 に対して 実績輸送量16.6であった。	車内の換気・消毒を徹底し、旅客の不安感を取り除き、バスが安全な移動手段であることを認識して頂く。
長電バス(株)	屋代須坂線(須坂駅～屋代駅) ※車両減価償却費国庫補助金を受けている	減便を実施し、費用圧縮に努めた	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 目標輸送量:19.2 に対して 実績輸送量19.7であった。	コロナ対策に留意しながら、学生に対するバスイベントを複数回実施し、利用促進を図る
長電バス(株)	屋代須坂線(須坂駅～松代駅) ※車両減価償却費国庫補助金を受けている	減便を実施し、費用圧縮に努めた	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標輸送量:18.7 に対して 実績輸送量17.9であった。	コロナ対策に留意しながら、学生に対するバスイベントを複数回実施し、利用促進を図る

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
アルピコ交通(株)	高府線(善光寺大門～高府) ※車両減価償却費国庫補助金を受けている	長野市及び小川村地域公共交通会議と連携し、利便性の高いダイヤの設定・運賃の適正化、中古等での低床車両の購入や沿線の学校等に時刻表等の配布を行いより一層の利用促進を図っている。	B 高齢者向けの利用促進事業は適切に実施された。その他の事業についてはコロナ禍においては適切に実施できなかった。	B 目標輸送量37.6に対して、利用者が伸びなかったことから、実績輸送量21.7であった。	長野市及び小川村地域公共交通会議と連携し、コロナ禍における感染防止対策の実施や周知を図るなどし、利用促進を図っていく。
アルピコ交通(株)	高府線(善光寺大門～初引) ※車両減価償却費国庫補助金を受けている	長野市及び小川村地域公共交通会議と連携し、利便性の高いダイヤの設定・運賃の適正化、中古等での低床車両の購入や沿線の学校等に時刻表等の配布を行いより一層の利用促進を図っている。	B 高齢者向けの利用促進事業は適切に実施された。その他の事業についてはコロナ禍においては適切に実施できなかった。	B 目標輸送量21.5に対して、利用者が伸びなかったことから、実績輸送量13.2であった。	長野市及び小川村地域公共交通会議と連携し、コロナ禍における感染防止対策の実施や周知を図るなどし、利用促進を図っていく。
アルピコ交通(株)	鬼無里線 ※車両減価償却費国庫補助金を受けている	長野市地域公共交通会議と連携し、利便性の高いダイヤの設定・運賃の適正化、中古等での低床車両の購入などを行い、より一層の利用促進を図っている。	B 事業についてはコロナ禍においては適切に実施できなかった。	B 目標輸送量42.1に対して、利用者が伸びなかったことから、実績輸送量23.2であった。	長野市地域公共交通会議と連携し、コロナ禍における感染防止対策の実施や周知を図るなどし、利用促進を図っていく。
アルピコ交通(株)	県道戸隠線	長野市地域公共交通会議と連携し、利便性の高いダイヤの設定・運賃の適正化、中古等での車両の購入や沿線の学校等に時刻表等の配布を行いより一層の利用促進を図っている。	B 事業についてはコロナ禍においては適切に実施できなかった。	B 目標輸送量39.5に対して、利用者が伸びなかったことから、実績輸送量25.8であった。	長野市地域公共交通会議と連携し、コロナ禍における感染防止対策の実施や周知を図るなどし、利用促進を図っていく。
アルピコ交通(株)	新町大原橋線(善光寺大門～新町)	長野市地域公共交通会議と連携し、利便性の高いダイヤの設定・運賃の適正化、中古等での低床車両の購入や沿線の学校等に時刻表等の配布を行いより一層の利用促進を図っている。	B 事業についてはコロナ禍においては適切に実施できなかった。	B 目標輸送量33.1に対して、利用者が伸びなかったことから、実績輸送量19.1であった。	長野市地域公共交通会議と連携し、コロナ禍における感染防止対策の実施や周知を図るなどし、利用促進を図っていく。
アルピコ交通(株)	新町大原橋線(善光寺大門～大原橋・犀峽高校)	長野市地域公共交通会議と連携し、利便性の高いダイヤの設定・運賃の適正化、中古等での低床車両の購入や沿線の学校等に時刻表等の配布を行いより一層の利用促進を図っている。	B 事業についてはコロナ禍においては適切に実施できなかった。	B 目標輸送量31.5に対して、利用者が伸びなかったことから、実績輸送量19.2であった。	長野市地域公共交通会議と連携し、コロナ禍における感染防止対策の実施や周知を図るなどし、利用促進を図っていく。
アルピコ交通(株)	山形線 ※車両減価償却費国庫補助金を受けている	コロナ禍の影響により、中古の低床車両の購入は中止となったが、協議会と連携して全線時刻表を作成・配布を行ない公共交通利用促進を図っている。	B 車両購入についてはコロナ禍の影響により適切に実施できなかった。	A 目標輸送量31.6に対して、実績輸送量33.1であった。	山形村及び松本市地域公共交通会議と連携し、コロナ禍における感染防止対策の実施や周知を図るなどし、利用促進を図っていく。
アルピコ交通(株)	四賀線 ※車両減価償却費国庫補助金を受けている	コロナ禍の影響により、中古の低床車両の購入は中止となったが、協議会と連携して全線時刻表を作成・配布を行ない公共交通利用促進を図っている。	B 車両購入についてはコロナ禍の影響により適切に実施できなかった。	B 目標輸送量28.9に対して、利用者が伸びなかったことから、実績輸送量20.0であった。	松本市地域公共交通会議と連携し、コロナ禍における感染防止対策の実施や周知を図るなどし、利用促進を図っていく。
アルピコ交通(株)	本線 岡谷～茅野線	JR電車の大幅なダイヤ改正がなかったこともあり、運行時刻や運行系統に変更はなかったが、市町村と連携し、時刻表冊子を作成・配布を行い、公共交通利用促進を図っている。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標輸送量36.6に対して、利用者が伸びなかったことから、実績輸送量29.8であった。	慢性的に渋滞する国道20号線を走行する為、一部バス停での時刻見直しを進めるとともに、コロナ禍における感染防止対策の実施や周知を図るなどし、利用促進を図っていく。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
千曲バス㈱	佐久上田線	土日祝日の運休を引き続き実施して経費削減を図った。また、上田市運賃低減バス実証運行の利用促進活動を実施した。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標輸送量:15.0 に対して 実績輸送量10.4であった コロナ禍の為大幅に利用者が減少した為と考えられる	沿線自治体からの支援で路線存続を維持しているため、引き続き土日祝日の運休を実施、アイドリングストップなどで経費削減を図る。運賃低減バスが継続されたため、今後もバス存続に向けて地域への働きかけを実施する。また、新しい生活様式に即した車内設備等を充実させてゆく。
千曲バス㈱	中仙道線	コミュニティバスとの接続を引き続き実施した。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標輸送量:40.0 に対して 実績輸送量21.4であった コロナ禍の為大幅に利用者が減少した為と考えられる	佐久市内循環バスとの連携を引き続き行い、利用者の利便性を向上させる。また、新しい生活様式に即した車内設備等を充実させてゆく。
千曲バス㈱	鹿教湯線(鹿教湯車庫～下秋和)	高校への定期券出張販売や上田市運賃低減バス実証運行の利用促進活動を実施した。 ※車両減価償却費国庫補助金、公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けている	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標輸送量:50.0 に対して 実績輸送量42.9であった コロナ禍の為大幅に利用客が減少した為と考えられる	運賃低減バスが継続されているため、季節に合わせた車内デコレーションやプレゼントキャンペーンなど、引き続き利用促進活動を実施する。また、新しい生活様式に即した車内設備等を充実させてゆく。
千曲バス㈱	鹿教湯線(丸子～下秋和)	高校への定期券出張販売や上田市運賃低減バス実証運行の利用促進活動を実施した。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標輸送量:60.0 に対して 実績輸送量49.2であった コロナ禍の為大幅に利用客が減少した為と考えられる	運賃低減バスが継続されているため、季節に合わせた車内デコレーションやプレゼントキャンペーンなど、引き続き利用促進活動を実施する。また、新しい生活様式に即した車内設備等を充実させてゆく。
千曲バス㈱	青木線	青木村・上田市と連携した運賃低減バス実証運行の利用促進活動を実施した。 ※公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けている	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標輸送量:70.0 に対して 実績輸送量62.7であった コロナ禍の為大幅に利用客が減少した為と考えられる	運賃低減バスが継続されているため、季節に合わせた車内デコレーションやプレゼントキャンペーンなど、引き続き利用促進活動を実施する。貨客混載バスを有効活用し、生産性を向上させる。また、新しい生活様式に即した車内設備等を充実させてゆく。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)	
上田バス(株)	真田線	夏休みキッズバスの配布。モビリティマネジメントの実施。回数券、定期券購入者向けの粗品プレゼントキャンペーンの実施。車内装飾を期間限定で実施。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B	目標輸送量は20.6人に対して輸送量は15.9人であった	新型コロナウイルス感染症の拡大により乗車率が下がり、収支率も前年に比べ悪化した。感染症拡大防止対策を講じた上で、現状の運行を維持し、バスの乗り方教室や、チラシの配布などによる利用啓発を行う。地区行事の際に積極的な利用啓発を行う。
上田バス(株)	菅平高原線 ※車両減価償却費国庫補助金、公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けているを受けている	夏休みキッズバスの配布。沿線近隣の小中学生を対象としたバスの乗り方教室の実施、将来の利用者掘り起し。複数回乗車のお客様に高原野菜プレゼント企画実施。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B	目標輸送量は39.2人に対して輸送量は31.0人であった	新型コロナウイルス感染症の拡大により乗車率が下がり、収支率も前年に比べ悪化した。感染症拡大防止対策を講じた上で、菅平観光協会と協力し、今後も野菜のプレゼント等の企画を実施していく。新たに開始したQR決済を周知し利便性向上を促し乗車率増加を目指す。
上田バス(株)	真田自治センター入口線	夏休みキッズバスの配布。モビリティマネジメントの実施。回数券、定期券購入者向けの粗品プレゼントキャンペーンの実施。車内装飾を期間限定で実施。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B	目標輸送量は33.6人に対して輸送量は27.3人であった	新型コロナウイルス感染症の拡大により乗車率が下がり、収支率も前年に比べ悪化した。感染症拡大防止対策を講じた上で、上田市と協力し、引き続きNHK大河ドラマの観光客取り込みを目指す。観光利用客に向け路線案内の充実を図る。
信南交通(株)	駒場線(中村経由) 飯田駅前～中村～曾山入口 ※公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けている	阿智高校の学校行事に合わせて臨時便・続行便運行の他に朝・晩のラッシュ時に密を回避するよう続行便を運行した(継続中)	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B	コロナウイルス感染拡大による3月～5月の学校休校による利用者の大幅な減少により輸送量42.3人の目標に対し29.0人と大きく下回り目標達成出来なかった。	利用者の利便性向上策として「阿智村巡回バス乗車券」の共通利用を令和3年度より実施予定
信南交通(株)	駒場線(市立病院経由) 飯田駅前～市立病院～曾山入口	利用者が多い通勤・通学便に対し密を懸念して利用者離れとにならないよう続行便を運行した(継続中)	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B	コロナウイルス感染拡大による学校休校と市立病院への通院利用者が大幅に減少し輸送量24.9人の目標に対し16.4人と大きく下回り目標達成出来なかった。	利用者の利便性向上策として「阿智村巡回バス乗車券」の共通利用を令和3年度より実施予定